



議会だより つしま

No.23

2024

2月

令和6年



私たちはこの笑顔を応援します

「三十歳を祝う会」

つしま

- ★第4回定例会のあらまし…2
- ★第4回定例会一般質問 7～10
- ★決算委員会レポート ……2
- ★行政視察報告 ……11
- ★常任委員会報告 ……3～5
- ★政治倫理審査会調査報告に関して 12
- ★会派代表質問 ……6～7

発行：対馬市議会

編集：対馬市議会広報編集特別委員会
〒817-1201

長崎県対馬市豊玉町仁位380番地
TEL 0920-58-1379 FAX 0920-58-1018
E-mail t_gikai@city-tsushima.jp



令和5年第4回対馬市議会定例会(12月定例会)の概要

令和5年第4回定例会が12月5日から12月19日(15日間)の日程で開かれ、34件の提出議案について審議されました。

会派代表質問は2会派、一般質問は7人が登壇し、活発な議論が展開されました。

主な議案

認 定 8件

(令和4年度対馬市一般会計歳入歳出決算の認定について ほか)

全件 認定

予 算 案 7件

(令和5年度対馬市一般会計補正予算(第5号) ほか)

全件 可決

条例改正案 9件

(対馬市災害派遣手当等に関する条例の一部を改正する条例 ほか)

可決 8件・否決 1件

議 決 案 8件

(対馬市交流センター駐車場の指定管理者の指定について ほか)

全件 可決

そ の 他 2件

(委員会の閉会中の継続審査について ほか)

可決 1件
閉会中の継続審査 1件

※ 議案、審議結果は対馬市議会
ホームページに掲載しています。

議 案



審議結果



3月定例会の お知らせ

令和6年第1回定例会は、3月上旬に開催を予定しています。

※日程は、議会運営委員会で協議された後、ケーブルテレビ、議会ホームページに掲載しますので、ご確認ください。



決算審査特別委員会レポート

令和5年10月4日から6日までの3日間、決算審査特別委員会が開催され、令和4年度一般会計歳入歳出決算の認定について審査が行われました。

令和4年度決算では、新型コロナウイルス感染対策事業の減少により、歳入においては、前年度と比較すると率にして1.7%の減、歳出においては、1.3%の減となっています。

本市の自主財源の柱である市税の占める割合は9.0%、徴収率(現年課税分+滞納繰越分)は前年度と比較して0.52ポイント増となっており、収納対策の取組に一定の成果があったものと捉えています。しかしながら、本市の財政状況は依然として自主財源に乏しい脆弱な構造が続いています。貴重な財源である税収入を確保するため、また、税負担の公平性の観点からも、滞納の早期解決を図るなど、引き続き市税の徴収強化に努めていくことが重要であると報告がされました。

◎詳細は広報つしま1月号に掲載しています。

総務文教常任委員会報告

委員長 陶山 荘太郎

付託案件審査報告

【議案第58号】 対馬市一般会計補正予算(第5号)

● 主な歳入の内訳

- 地方交付税及び新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の追加

● 主な歳出の内訳

- 選挙公益負担金の計上
- 市長選挙での選挙運動費用の一部を負担
- 負担金、補助及び交付金の追加
- 燃油高騰による負担軽減のため、航路・バス・タクシー・貨物運送業を支援
- 教育費の追加
- ICT機器の修繕、学校施設等の改修等

【議案第71号】 対馬市企業誘致に関する条例の一部を改正する条例

● 改正理由

- 人口減少対策として優良企業を誘致し、若年層の流出抑制とUターン促進

● 改正(指定基準)内容

- 製造業と旅館業の投下固定資産総額を2千7百万円から資本金に依りて5百万円、2千万円に緩和
- 情報サービス業の雇用要件を25名から15名に緩和

※同条例施行規則において、雇用奨励金の増額と各種奨励金の支援率を拡充

【議案第78号】 対馬市厳原地区公民館分館ありあけ会館の指定管理者の指定について

令和6年度から10年度までの5年間、指

定管理料を年488万3千円とし、これまで同様に白子地区を指定管理者に指定

◆◆◆ 審査結果 ◆◆◆

【議案第58号】、【議案第78号】

原案のとおり可決

【議案第71号】

本市の人口減少対策の一翼となるためには、更なる指定業種及び若年層とUターン者参入が期待できる基準の緩和措置の検討が必要であると判断し、原案を否決

所管事務調査報告

調査日 令和5年10月23日

県立特別支援学校小・中学部の設置

教育委員会事務局教育総務課・学校教育課

● 設置に関する経過

- 令和元年 市民団体からの陳情を受け、県との協議を実施

- 令和2年 設置要望の署名を県に提出
- 令和4年 市長・教育長連名の要望書を提出し、第二期基本計画での検討明記

- 令和5年 9月県議会で知事が設置について公表(令和9年4月、厳原中学校1階北側部分で開校予定)

● 開校までのスケジュール

- ① 撤去・移設工事に係る設計

令和5年3月までに、厳原中学校内の設置予定部分の撤去、必要な施設の移設・増築に係る設計

- ② 撤去・移設及び増築工事

令和6年度に設計工事を施工

- ③ 設置工事(内部改修)に係る設計

令和7年度に必要な設計を実施

- ④ 設置・内部改修工事(備品搬入・設置を含む)

令和8年4月から9年3月までに実施し、※予算については、①と②を対馬市が、③と④を長崎県が負担します。

● 開校時の対象者数(見込み)

- 小学部 17名(上対馬3、上県1、峰2、美津島8、厳原3)
- 中学部 7名(豊玉1、美津島1、厳原5)

※長崎県の計画では、10人程度の就学が継続して見込まれ、保護者等の理解や協力が得られる地区に設置を検討

◆◆◆ 委員からの意見 ◆◆◆

- ① 距離的条件などにより、通学できない対象者に対する支援を検討してもらいたい
- ② 市民への情報提供と入学に向けての適切な就学相談ができる体制を確立してもらいたい。

- ③ 対馬市の支出が最小限となるように、県としっかりと連携してほしい。

※これからも継続して、調査いたします。

厚生常任委員会報告

委員長 島居 真吾

付託案件審査報告

【議案第58号】対馬市一般会計補正予算(第5号)

●主な歳入の内訳

- ・住民税非課税世帯臨時特別給付金の計上
- ・マイナンバーカードローマ字表記対応改修費補助金の追加

●主な歳出の内訳

- ・国・県費精算返還金の計上
- ・子ども・子育て支援交付金ほか
- ・燃料費及び光熱水費の追加
- ・所管する高齢者施設、塵芥処理施設等の燃料費、光熱水費

【議案第75号】対馬市子どもデイサービスセンターの指定管理者の指定について

令和6年度から10年度までの5年間、これまで同様に米寿会を指定管理者に指定

【議案第76号】対馬市高齢者生活福祉センター「ピアハウス」の指定管理者の指定について

令和6年度から10年度までの5年間、これまで同様にあすか福祉会を指定管理者に指定

【議案第77号】デイサービスセンター御嶽の里の指定管理者の指定について

令和6年度から10年度までの5年間、これまで同様に慶長会を指定管理者に指定

【議案第78号】デイサービスセンターなるたき園の指定管理者の指定について

令和6年度から10年度までの5年間、これまで同様に慶長会を指定管理者に指定

◆◆◆ 審査結果 ◆◆◆

全議案について原案のとおり可決

所管事務調査報告

調査日 令和5年10月27日

病院建替えに向けた上対馬病院の現況及び救急医療(ドクターヘリ)の状況

長崎県上対馬病院・保健部医療対策課

●医療従事者の現状、課題

- ・常勤医師3名で月8〜10回程度の宿日直(対馬病院へ当直応援を要請している)
- ・看護職員47名(令和5年10月時点)

※医師を募集するも応募がなく、看護師等の採用も難しく人材の確保が喫緊の課題

●ドクターヘリ等の救急搬送実績

- ・ホワイトボード(福岡和白病院)
- ・令和3年度3件、令和4年度7件
- ・ドクターヘリ(長崎医療センター)
- ・令和3年度3件

●長崎県防災ヘリコプター

令和3年度1件

●現地視察

- ・上対馬病院建替候補地3か所及び殿崎へリポート

◆◆◆ 委員からの意見 ◆◆◆

- ・上対馬病院建替候補地については、上対

馬町、上県町全世帯を対象に実施したアンケート調査結果や候補地のメリット・デメリットを熟慮し、慎重に選定してもらいたい。

・殿崎へリポートは救急搬送への安心・安全運航のため、照明灯の設置などの施設整備が必要ではないか。



殿崎へリポートを視察



上対馬病院建替候補地を視察

産業建設常任委員会報告

委員長 坂本 充弘

付託案件審査報告

【議案第58号】対馬市一般会計補正予算(第5号)

●主な歳入の内訳

・博物館建設業務等に関する長崎県分担金の計上

・輸送コスト助成事業の事業費増に伴う離島活性化交付金の追加

●主な歳出の内訳

・負担金、補助及び交付金の追加

・運送業者の燃油高騰対策として貨物自動車運送事業者等への支援

●災害復旧費の計上

9月の豪雨で路肩が崩落したあそうベイパーク通路の補修工事費

【議案第72号】対馬市営駐車場条例の一部を改正する条例

●改正理由

・市営駐車場発券機に使用する感熱磁気駐車券の値上げに伴う駐車料金を改正

●改正内容

・感熱磁気駐車券1巻あたりの単価が約1.5倍上昇することから、その上昇幅にあわせて現在の駐車料金を改正

【議案第73号】対馬市交流センター駐車場の指定管理者の指定について

令和6年度から10年度までの5年間、これまで同様にまちづくり厳原を指定管理者に指定

【議案第74号】あそうベイパークの指定管理者の指定について

令和6年度から8年度までの3年間、これまで同様にグリーンアイランドを指定管理者に指定

◆◆◆◆◆ 審査結果 ◆◆◆◆◆

全議案について原案のとおり可決

所管事務調査報告

調査日 令和5年10月26日

海業について

上対馬町漁協他関係機関

●海業とは

全国で12件がモデル地区として選定された国の事業であり、長崎県下では唯一、上対馬町漁協が選定された。海や漁村の地域資源の価値や魅力を活用する事業で、国内外からの多様なニーズに応えることにより、地域の賑わいや所得と雇用を生み出すことが期待される取組

※海業を円滑に振興するため、上対馬町漁協、観光物産協会等で構成する協議会を設置し、海業のモデル形成に取り組む。この取組により次のような効果が期待される。

- ① 地産地消による地域経済の循環の促進
- ② 観光客の拡大と観光消費額の向上
- ③ 漁師や観光事業者の新たな雇用の創出
- ④ 若者の移住定住の促進
- ⑤ 高付加価値化による漁民の所得の向上
- ⑥ 水産資源の保全や資源回復

◆◆◆◆◆ 委員からの意見 ◆◆◆◆◆

綿密な計画書が出ているので引き続き動向を注視していく。

大中型まき網漁船の大型化計画について

上対馬町漁協他関係機関

●現況

日本遠洋旋網漁協所属は21隻で、うち3隻が対馬と協定を締結。船齢が18〜21年と老朽化しているため、80トンから150トンへの大型化が計画されている。

●技術的課題

① 船舶安全法(20トン以上)が改正され、平成21年1月以降建造の船舶は、安全基準への適用が求められた。

② 労働環境の国際基準見直しで漁船設備基準が改正。200トン以上は完全適用。20〜200トンも同基準に準拠した対応が必須。

●大型化した場合の操業対応

- ① 付属船を削減し4隻以下とする。
- ② 対馬西岸5マイル以内は周年操業自粛。
- ③ 3年間試験操業を行い、沿岸漁業者との間でトラブルが発生した場合は、遠洋まき網組合が責任をもって改善策を講ずる。

●組合長会の意見

大型化(増トン)には了承するが、その場合は8マイル以遠での操業が漁業者の総意であり、大型化した場合の8マイル以内での操業は受け入れない。

◆◆◆◆◆ 委員からの意見 ◆◆◆◆◆

組合長会の決定を重視。今後の協議を注視していく。



市政を問う

2会派が会派代表質問
7名の議員が一般質問

対政会…P6	新政会…P7	入江有紀…P7
小宮教義…P8	小島徳重…P8	春田新一…P9
伊原徹…P9	大浦孝司…P10	脇本啓喜…P10

対政会



波田 政和議員

◎対馬市政倫理条例違反に
対する市議会の対応

(波田) 原子力発電環境整備機構による旅費負担での視察旅行を、対馬市政倫理審査会が条例違反との報告に対し、市議会としての対応を尋ねる。

(議長) 全員協議会を開催し議員皆様の意見を聞き、対応する。

◆高レベル放射性廃棄物最終処分場誘致反対判断後の対応
について

(波田) 今後、市民の合意形成が整ったなら誘致の考えもあるのか。

(市長) 長期的な事業であるが、将来的な安全性の担保が重要であり、市長任期中は全てにおいて受け入れない方針で取り組む。

◆市長選3選の出馬決意報告
について

(波田) 市長3選へ向け、市長人生総仕上げの取組は。

(市長) ふるさと納税返礼品制度の導入を行い、市内産業の活性化で一定の効果が出ている。有人国境離島法施行に伴う各種事業においては、国が創設した法律の運用で地域経済へ貢献し、SDGs 未来都市の選定と推進で将来を見据えた施策に取り組んできた。3期目の取組として誰一人残さない持続可能な島づくりをコンセプトとした各種取組との相乗効果で人口減少に歯止めをかけたいと考えている。

◆対馬市本庁舎建設の方向性
(波田) 外部検討委員会の報告を受け、今後の進め方と取組について

(市長) 外部検討委員会の検討結果を真摯に受け止め、本庁舎の新築建替えを実施し、本庁機能集約方式として厳原市街地に本庁として建設することを基本として検討する。

新 政 会



船越 洋一議員

◆高レベル放射性廃棄物文献調査受け入れ反対の表明後の議会対応について

(船越) 市民の合意形成が不十分であったと言うが、合意形成とは「意見が食い違っているときに、互いの意見を納得のいく形で一致させる」であるため、合意形成は取れない。地方自治体では、市長と議員を市民が直接選挙で選ぶ二元代表制である。市長には執行権、議会には議決権があり、議会の議決なしに市長は予算執行もできない。議員が本会議で採決をした結果、賛成多数で可決したにも関わらず、議会と相反する決断をされたことは、議会制民主主義の根幹にかかわる問題だと思うが。

(市長) 議会で確かに採択はされたが、この案件を市

長が承認することには当てはまらない。地方の首長の責任で国も意見を尊重するとのこと、私はこれに沿って市長として判断した。

◆厳原総合運動公園陸上競技場について

(船越) 厳原総合運動公園の陸上競技場を全天候型のトラックにし、第三種公認陸上競技場にできないか。

(市長) 現在、島の中央部に位置し、全島大会も移動時間、経費、身体的な負担を考慮し、峰陸上競技場を全天候型の300mトラックで第四種公認の陸上競技場として整備しており、新たに厳原陸上競技場を全天候型トラックに整備するには、極めて困難だと考える。なお、厳原陸上競技場は多くの利用実績がある重要な施設であるため、今後も利用者の皆様の要望を伺いながら適切な施設の管理運営に努める。



入江 有紀議員

◆文献調査について

(入江) 市長が議会を軽視して反対の見解を報道陣に先に発表した経緯について

(市長) 一定の市民、報道関係者に対しては、議会での見解表明までは話していない。

◆企業誘致について

(入江) 対馬市の企業誘致の条例では4業種しかないため、誘致しようにも誘致できないが、どうしてこのような条例を作ったのか。

(市長) 現在の4業種を増やすということであるが、長崎県その他の自治体の企業誘致関係条例も、大体同じくらいの状況になっている。

◆ヤングケアラーについて

(入江) 一般質問で何度も言ってきたが、対馬の現在の

のヤングケアラーの数を把握していると思うので教えてほしい。

(教育長) 今回の調査結果では、小学生で10名、中学生で8名いる。そのうち、一人で世話をしている子どもが中高生で1名いた。現在、各学校には、ヤングケアラーに該当する実態を把握したときは、教育委員会への報告を求めている。

(入江) このヤングケアラーの件については、厚生常任委員会で大村市のヤングケアラーの施設「まつなぎや」を視察してきた。この施設は日本財団が3年間お金を出して運営し、あとは市が運営することになっている。初めは3名であったが現在は18名になっている。ヤングケアラーだけでなくいろんな子どもたちの居場所づくりになっている。私も子ども食堂の一角に居場所をつくりたい。



小宮 教義議員

◆本年9月議会最終日9月27日の発言の文献調査拒否、5項目について

(小宮) 5項目の発言は文献調査に反対する議員の代弁者としての発言か。

(市長) 請願書を提出された推進団体及び反対団体、そして有識者や市民等との意見交換、国などの関係機関への質問や、市議会の請願審査特別委員会の審議状況なども踏まえながら、対馬市の将来を見据えて、私自ら判断したものである。

◆来年3月の市長選出馬について

(小宮) 8年間の実績は、ふるさと納税をあげているが、それは成果でもなんでもない。全国市町村1,718全部やっている当然の

ことである。基軸がずれている。あなたが本当に市民のことを思えば、立候補せずには次の世代に譲る。それが最善の対馬の幸福を生む基本となる。そういう考えで対馬の発展に寄与すべきである。



◆SDGs未来都市計画について

(小宮) 「対馬未来会議2023」では、実効性のある事例が出されたか。

(市長) 3つのグループテーマを設定し、現地視察での気づきなどディスカッションが行われ、7つの活動テーマが設定された。

(小宮) 「海業」をモデル地区以外に広げるべきではないか。

(市長) 海業振興モデル地区を先行事例としながら、官民連携によるノウハウを蓄積し、今後、対馬全域で幅広い事業展開につなげる。

(小宮) SDGsの理念を浸透させるため、立て看板を設置したらどうか。

(市長) 対馬空港や厳原港並びに比田勝港ターミナル



小島 徳重議員

等に設置に向けて積極的に進める。

◆女性活躍社会の推進について

(小宮) 対馬市の現状と今後の課題について

(市長) 十分な取組ができていない。職場環境の改善を推進しながら、女性活躍に向けた取組を進めていく。市役所において模範となる取組を推進し、各事業所への波及推進に取り組む。

◆オーガニック給食の推進について

(小宮) 減農薬米の使用拡大について

(教育長) 6調理場のうち3調理場で使用。3調理場は近場の地元農家の米を使用している。

(小宮) オーガニック食材を取り入れた給食の情報収集について

(教育長) 現時点では、学校給食にオーガニック食材を提供できる生産者は対馬市内にはいない。県給食会でも取り扱っていない。



春田 新一 議員

◆豊地区涵養ミニダム整備について

(春田) 涵養ミニダムは古くから農業用のほか、防災面でも機能している。現在では野菜栽培が盛んに行われている。河川から流出する土砂の浚渫はできないか。

(市長) 地元との協議、現地調査を行い、土砂撤去に向けて実施できるよう前向きに検討する。

◆道路里親制度導入について

(春田) 道路の一定区間の除草、清掃など法人や住民団体等に任せてはどうか。

(市長) 地域住民、ボランティア団体等の理解がいたなければ、最適な環境の中で道路里親制度が導入できるように検討したい。

◆小、中学校における不登校、いじめの現状と予防対策は

(春田) 不登校やいじめが増加している。その実態と早期解決策は。

(教育長) 不登校については、教育支援センターへの通所、

小、中学校間の情報共有、カウンセラーやソーシャルワーカーの積極的な活用等に対応している。今後の対策として小、中学校間の連携強化と、教育相談のスキルアップの推進を考えている。いじめの形態が多様化している。児童生徒理解のための情報交換会や生活アンケートなどの取組を継続するとともに、未然防止に資する人権教育の充実に努める。

◆虹の原特別支援学校、対馬分校の今後の進め方は

(春田) 小中学部の分教室は厳原中学校に開設を決定。北部地区の通学に対する解決策は。

(教育長) 北部地域にサテライト校的な機能を有する教室を設置いただけるように県教育委員会と協議を進める。



伊原 徹議員

◆対馬市長期人口ビジョンの展望について

(伊原) 本市の人口減少の背景と持続可能な地域社会継続への取組について

①なりわいづくり分野

(市長) 新規創業や事業拡大を行う事業者への設備導入や人件費等の助成、さらに新規創業や新商品の開発等に向けてセミナー開催やアドバイザーの派遣に取り組んでいる。

②交流・移住・定住分野

(市長) 都市部からの小中学生の受け入れによる島っこ留学推進事業、島づくり人材育成事業による関係人口・移住者の増加に努めている。

③結婚・出産・子育て環境分野

(市長) 出合いの場の創出から交際・結婚までの縁結びプロジェクト事業、また、

出産や子育てがしやすい職場環境づくりに取り組む企業への認定制度に取り組んでいる。

④高齢者のいきがいづくり・住みやすいまちづくり分野

(市長) 認知症に対する正しい知識習得に向けて、認知症サポーターの養成事業やシルバー人材センターの運営補助、コミュニティバスによる生活支援に取り組んでいる。

◆「よりあい処つま」の運営状況について

(伊原) 大相撲九州場所開催期間中の来店者数・客単価及び今後のアンテナショップの必要性について

(市長) 令和5年九州場所期間中の来店者数は1,539人。売上は1日平均約30万円、客単価は2,097円であった。周辺のコインション施設では、多くのイベントが開催されており、今後も対馬観光物産協会との連携により、情報発信に努める。



大浦 孝司議員

◆企業誘致について

(大浦) 福岡魚市が韓国より、アジ・サバを比田勝に荷揚げしようとする構想が浮上している。また、一般社団法人「島の海と陸を豊かにする会」の県内プロジェクトでは、対馬は水素中心のカーボンニュートラル構想が浮上している。これらに対する市長の見解を求める。

(市長) 比田勝港が本土・韓国間の輸送ルートの中継寄港地となれば、対馬の事業者にとって輸送コストの縮減・鮮度保持のメリットは大きい。しかし、現段階は比田勝港は貿易港ではないが、開港に向けての手続きを前向きに進めていきたい。「島の海と陸を豊かにする会」の構想については、具体的

な協力や連携等の話があれば適切に対応する。

(大浦) 福岡魚市の構想概要であるが、取り扱いは当初3千トン、30億円、安定時には100億円規模の取引とする。この背景にはジャパンシーフーズ泉工場の生産拡大計画がある。現在40人、8億円の売上から第二工場増設により、150人、40億円売り上げを見込んでおり、全輸入量の対馬活用以外は国内流通に回るものと思われる。また、魚市の話として、明太子の原料、タラコの取扱いも行いたい。韓国への輸出として、対馬で取れた寿司ネタの魚を送る構想を持っていた。韓国では握り寿司ブームであるが、ネタ不足のため是非実現したいと社長自ら語っていた。なお、12月1日、財務省門司税関・厳原税関支署において、開港の取組について指導を受けたところである。



脇本 啓喜議員

◆持続可能な島とするための施策について

(脇本) 対馬市の財源確保あるいは域内総生産増加策については、以下の6点を今後の対馬市で推進していくべきだ。

- ① ESG投資
- ② ソーシャルビジネス…対馬市の社会問題解決に向けて中間支援組織育成・支援を強化して、ESG投資を呼び込みソーシャルビジネスとして成立する基盤づくりに積極的に取り組むべきだ。
- ③ M&A…中小企業支援条例を制定し創業支援と事業継承を別建てで実施すべきだ。
- ④ 既存産業の再構築（海業等複合産業化等）
- ⑤ 兼業・副業の推進…リスキリングを奨励し、求人側

が求める経験やスキルを身に付けた求職者育成を図り、兼業・副業可能な環境づくりに向けた積極的な支援を図るべきだ。

⑥ 貿易振興…貿易振興を図るプロジェクトチームを設置してはどうか。比田勝港国内ターミナル背後地に保税工場を建設し、そこを加工貿易の拠点とすれば、輸出入両方の関税減免優遇が受けられる。この土地を上に対馬病院建設候補予定地の一つとしているが、津波等の心配を考えれば、候補地として不適格だ。

(市長) 突然このような多岐にわたる質問をされても直ぐに答弁できない。

(脇本) 通告書は詳細に記載している。しかも、紙幅の関係で答弁書に記載できなかったことも、通告メッセに答弁作成担当課長等へわざわざ出向いてレクチャーしている。

行政視察報告

【報告書】



常任委員会が先進地の行政視察を行いました。詳細についてはホームページに報告書を掲載しています。

厚生常任委員会

日時 令和5年10月30日～11月1日

視察先
 ①長崎市議会
 ②総合介護サービスセンター 泉の里
 ③ヤングケアラー支援施設 まつなぎや
 ④福岡和白病院

視察内容
 ②グループホームについて ほか
 ③ヤングケアラー支援事業について
 ④救急医療について



福岡和白病院

総務文教常任委員会

日時 令和5年11月6日～11月8日

視察先
 ①虹の原特別支援学校壱岐分校
 ②虹の原特別支援学校本校
 ③長崎県教育庁

視察内容
 ①②特別支援学校小・中学部の現状
 取組及び課題について
 ③第二期長崎県特別支援教育推進基本計画の概要について ほか



長崎県教育庁

産業建設常任委員会

日時 令和5年11月16日～11月18日

視察先
 ①大村市役所
 ②(株)ミライステラス
 ③(株)道の駅むなかた

視察内容
 ①屋外広告物の規制について
 ②設立経緯・趣旨について ほか
 ③設立経緯について ほか



(株)ミライステラス

対馬市政治倫理審査会の調査報告に関して

対馬市政治倫理審査会において、13人の対馬市議会議員が対馬市政治倫理条例に違反すると判断された調査報告に関し、令和5年第4回定例会最終日に議長が以下のコメントを発表しました。

対馬市政治倫理審査会において、13人の対馬市議会議員が、対馬市政治倫理条例に違反すると判断された件につきまして、市議会を代表しまして、市民の皆様へ申し上げます。

市民の皆様におかれましては、市議会議員13人が、対馬市政治倫理条例に違反しているということが新聞等で報道され、大変不愉快な思いをされていることと存じます。世間をお騒がせしていることに対しまして、深くお詫び申し上げます。

まず、対馬市政治倫理審査会の調査報告にいたるまでの経過を申し上げます。

令和5年9月25日に、対馬市民から、対馬市政治倫理条例に基づく調査請求が、議長あてに提出されました。その調査請求内容のひとつが、議員が、原子力発電環境整備機構が、費用の多くを負担する視察旅行に参加したことが、対馬市政治倫理条例に規定する企業団体等からの寄附及び金品の授受にあたり、その行為が対馬市政治倫理条例違反ではないかというものです。この調査請求を受けまして、令和5年10月2日に、議長名で、対馬市政治倫理審査会に調査を求めました。その後、対馬市政治倫理審査会におきまして、5回の審査会を経て、13人の議員に対する機構の旅費負担は、対馬市政治倫理条例に規定する「企業団体等からの政治的又は道義的批判を受けるおそれがある寄付に当たる」として、条例違反との判断がされたものでございます。

今回の対馬市政治倫理審査会の判断は、議長として、非常に重く受けて止めております。

議員は、自己の置かれた立場を厳しく認識したうえで、市民から不信・疑念を抱かれることがないように、高い政治倫理意識を持って、議員活動に取り組み、市民の負託に応えることが求められます。

対馬市の将来を想って、自らの信念に基づいての行為だったと思いますが、議員は、政治的批判のみならず、道義的批判に晒されることがないように、自らを律し、不正な疑惑を持たれるおそれのある行為は慎まなければなりません。

二度とこのようなことが生じないように、議員の品位と職責を再認識して、議員全員が一丸となって、対馬市議会の信頼回復に全力を尽くすべく、決意を新たにいたしましたところでございます。

どうか、この心情をお酌み取りいただきまして、市民皆様のご理解を賜りますようお願い申し上げます。